

木田市長の

どしんと
コミュニケーション



欲張りには損をする

Vol.116

まじめに頑張っている職員にとつては、全く失礼な話であるが、私は折にふれ「汚職はするな。得だと思っても後で計算すれば損となるはずだ」ということを言ってきた。悪事がバレれば、仕事も名誉も退職金さえも失つて、しかも家族なども大いに影響を受けるわけです。一時の利益に惑わされて、全体を見失ってはならない。このように考えて順当に人生を送っている人が大半であるが、いつの時代も不正が発生するのは世の常であります。

遠くは、外国の一流企業フォルクスワーゲンの違法ソフトには世界中の人が驚かされました。一千万台を超える車に不正なソフトが積まれて

いては、いつかはバレるのは明白です。安全で頑丈な車作りで有名であったフォルクスワーゲンが、売上げ台数を伸ばす為に世間を欺くとは誰にも考えられないことであります。その結果として、不正によって得られた利益の、おそらく何十倍もの負担を強いられることになるはずですよ。

近く日本国内では、東洋ゴム工業の不正がありました。免震用のゴムに決められただけの性能が無かったというものです。建物の免震は誰もが採用したくても、なかなか出来ない夢の装置です。そんな、本気で地震の対策を考えている人達を騙すやり方ですから、タチが悪いと言わざるを得ません。東洋ゴム工業は

免震ゴムの他にも、電車のゴム部品などで性能試験の数値を不正していました。次から次へと不正が出てきたのでは会社の信用が無くなってしまうわけで、東洋のタイヤなども命を載せるものだけに、私は購入に一步引く思いです。

更に、旭化成建材のマンション工事での不正が発覚しました。過去にも姉歯事件というのがありました。忘れた頃にまたぞろ出てきたという感じがします。何本かの基礎杭を少し短く打つたり、杭の先端のセメントを少々節約したりすることで、一体どれほどの利益が生まれるのでしょうか。そしてその結果、全部建て替えという莫大な損失が待っているわけです。やはり、その時は得だと思っても後で計算すれば損をするわけです。

私が市長に就任した時、ひとりの同級生の女性と親戚の人から「悪いことだけは絶対に、せんといてな」と、奇しくも同じことを言われました。この人達の思いを、常に自分の胸に持ちつつ、職員の方にも、清く正しく生きることがこれからも要求していきたいと思えます。



Vol.142

子どもの声は…

あるマンションでのお話。管理人室に寄せられたのは、子どもの泣き声に対して、隣接する3世帯からの苦情の声でした。これに対し、管理人は、子どものいる世帯と希望する世帯へ防音シート設置のお知らせとともにひとつのメッセージを添えました。

「個人的な意見ですが」として書き出されたメッセージ。「私たちには皆、幼少期がありました。個人差はあれども、私たちは記憶にない時間の中で、幾多の痼癢を起こし、部屋を汚し、お漏らしをし、他人に迷惑を掛け、そして今の時まで成長することができました。それができたのは、記憶にもない時期の、迷惑極まりない赤ん坊行為を

数多くの人びとが受け入れ、許容し、それでも愛してくれただからではないでしょうか」「お子様の泣き声などについて、相当のストレスを抱えていることと存じます。ただし、それは、私たち大人が記憶にない幼少期にやったことと全く同じことなのです。その時、親は、近所の人は、町の人びとは、どのようにあなたのことを見ていたでしょうか。迷惑と責め立て、騒音と扱い、排除しようとしていたでしょうか。私たち大人のありべき姿として、赤ん坊行為を排除する様な態度・言動を行うのは控えたほうがいいのではないのでしょうか。彼ら彼女らは、まだ記憶もない赤ん坊です。泣くのが仕事です。迷惑をかけながらも成長するのが仕事なのです」

この管理人のメッセージに心を動かされ、防音シートの設置を希望する世帯はいなかったようです。少子高齢化が進む社会、通りから子どもの声が聞こえなくなつたという声も聞こえます。大切なのは寛容な心であり、子どもに対する大人のありかたではないでしょうか。あなたはどのように感じましたか。